

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公表番号】特表 2000-515040 (P2000-515040A)

【公表日】平成 12 年 11 月 14 日 (2000.11.14)

【出願番号】特願 平 10-505934

【国際特許分類第 7 版】

A 4 7 G 9/10

【F I】

A 4 7 G 9/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 12 日 (2004.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

16.7.12



平成 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第505934号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ジーバー プロミネンス アクチボラゲット

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「5」
となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. 弾性材料から作られ、かつ使用者の頭を支持する頭セクション(20)と、該頭セクション(20)に接する少なくとも1つの細長い首セクション(30、40)とを画定する上面および下面を有し、首セクションの上面の方が頭セクションより高く、使用者の首および喉を支持できるように構成された枕(10)において、枕を形成する弾性材料にはチャンネル(50)が設けられ、該チャンネル(50)は、前記下面において、首セクションの中央を横切る方向に延びており、チャンネル(50)は、枕が、少なくとも首、頸椎および喉のための柔らかい支持部分を得ることができる長さを有し、かつ首セクション(30、40)の少なくとも1つの外面(34、44)を貫通しており、使用者が主として背中または胃を下にして寝るときに頸椎および喉に作用する圧力および剪断力を低減させ、また、首セクションが頭セクション(20)より柔らかくなるように、前記チャンネル(50)は、首セクションの前記少なくとも1つの外面(34、44)に向かう方向に拡がっている端部(54、56)を有していることを特徴とする枕。
2. 高い首セクションおよび低い首セクションを有し、前記チャンネル(50)の断面積は、頭セクション(20)を通る方向に減少していることを特徴とする請求の範囲第1項または第2項に記載の枕。
3. 前記チャンネル(50)は、弧状の断面形状を有することを特徴とする請求の範囲第1項及び2項に記載の枕。
4. 前記チャンネル(5)には、前記弾性材料より柔らかい材料が充填されていることを特徴とする請求の範囲第1項～第3項のいずれか1項に記載の枕。
5. 前記チャンネル(5)は、枕のための底板(60)の上面により画定されることを特徴とする請求の範囲第1項～第4項のいずれか1項に記載の枕。